

海上の森保全活用計画の進捗(主要事業)と今後の進め方(案)

事業展開項目	内容(全体計画)	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
愛知万博記念の森としての保全	自然環境の保全	湿地・森林鳥類生息状況調査(ローテーションにより実施)	湿地	湿地	森林	森林	鳥類・外来種	湿地	湿地	森林	森林	鳥類・外来種
		希少動植物の調査(材木、ハクマ、ムサビ、ホトケトシヨウ)	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○
		情報集積・情報発信						◆調査報告(毎年発行)、他機関・他団体等の調査情報収集・整理				
		保全策の検討・専門家意見聴取						◆保全策の検討・専門家意見聴取、検討会の開催				
	森林の整備	人工林の整備(間伐対象100ha) 目標計画35ha	3.28ha (3.28ha)	2.81ha (6.09ha)	3.52ha (9.61ha)	2.85ha (12.46ha)	2.64ha (15.10ha)	5.92ha (24.02ha)	目標計画35haに向けて整備推進			
		広葉樹林整備(除伐・間伐等)	0.45ha (0.45ha)	0.54ha (0.99ha)	0.97ha (1.96ha)	0.78ha (2.74ha)	0.69ha (3.43ha)	— (3.43ha)	適正な整備推進			
		針広混交林(除伐・間伐等)	3.35ha (3.35ha)	3.06ha (6.41ha)	3.53ha (9.94ha)	2.99ha (12.93ha)	2.98ha (15.91ha)	— (15.91ha)	◆森林整備・管理計画の作成・実績の記録(システム検討を含む) ・実施状況、個別計画について公開・情報発信 ◆高齢級林分の維持管理検討(現状把握と管理指針) ◆発生木材の有効利用(木材生産(販売)を含む)の検討と実施 ・現行制度の中で海上の森内で有効活用 ・木材生産、新たな仕組みの検討 ◆多様な広葉樹施業の検討(更新等) (目的・目標の設定、モニタリング)(ふれあいの里等)			
	農地の整備	作業体験農地管理(毎年0.3~0.5ha) * (田・畑耕作面積)	0.32ha	0.33ha	0.33ha	0.33ha	0.45ha	0.45ha	適正な維持管理			
		里山環境として保全する農地管理						農地として適正な維持管理(耕耘・水路整備・畦道整備・草刈り等)				
ため池の整備、管理					整備	修景作業	適正な維持管理					
森林や里山の学習と交流の拠点づくり	体験学習の実施	森の教室 毎年10回程度	10回	10回	10回	9回	(委託化)6回	6回	(4回)	◆ニーズ等を踏まえ、内容を見直し実施		
		里の教室 毎年8回程度	9回	8回	9回	(委託化)10回	10回	10回	(9回)			
		里山のものづくり 毎年4回程度	4回	4回	4回	(委託化)3回	3回	4回	—			
		調査学習会 毎年7回程度	7回	7回	7回	(委託化)7回	7回	7回	(6回)			
		海上の森ツアー 毎年4回程度	4回	4回	4回	4回	(委託化)4回	4回	—			
		遊歩施設プログラム 毎年10回程度	10回	10回	10回	4回	(委託化)4回	4回	(4回)			
		心身障害者のための森林体験プログラム		開発	プログラムの実施							
	幼児森林体験フィールド整備、活用			整備	活用、維持管理							
人材の育成	あいち海上の森大学(毎年30人)		36人 (36人)	43人 (78人)	31人 (109人)	27人 (136人)	31人 (167人)	内容の検討(運営委員会で検討)・受講生の確保				
	国際フォーラム		●	●	●	●	●	○	○	○	○	
情報発信	海上の森自然環境情報の展示、ムーアカデミー通信	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	
協働・連携の推進	海上の森の会(平成22年度NPO法人化)	協働した森林や里山の保全・活用、体験プログラムの受託等										
	あいち自然ネット		設立	運営、協働した催事開催等								
	企業連携プロジェクト			3社 (3社)	2社 (5社)	1社 (6社)	2社 (8社)	参加企業の募集、現地指導等				
	その他(地元、小中学校、大学等との連携)	情報交換等						◆団体対応(小中学校・大学等との連携)				
その他	◆サポーター(海上の森の会との協働の基本枠組みの上で)										*別紙(試行)	

◆ 特に検討し、進めたいこと(平成23年度第1回海上の森運営協議会で提案等)